

1

相澤 久美

認定NPO法人みちのくトレイルクラブ設立　事務局長
＜建築家／編集者／プロデューサー＞

トレイル
管理運営

MICHINOKU
TRAIL CLUB

みちのく潮風トレイル
Michinoku Coastal Trail

silent voice
映画製作

Trailblaze
Hiking Institute

トレイル
敷設造成
普及啓発

特定非営利活動法人
震災リゲイン
支え合い、備えよう。命をつなぐ、震災専門メディア。

災害支援・メディア

一財）自然公園財団　理事／中央環境審議会 小委員会 委員



2



3

ロングトレイルの維持管理運営システム構築の考え方

①「長く歩く旅」と ②「長く歩く道」の意義と効果

長く
歩く

①「長く歩く旅」の意義と効果
(1)国民にとって
(2)社会にとって

②「長く歩く道」の意義と効果
(1)国民にとって
(2)社会にとって
(3)地域にとって

4

ロングトレイルの維持管理運営システム構築の考え方

①「長く歩く旅」の意義と効果



40代地元ハイカーと18歳初心者ハイカー

旅は国民に豊かな自然体験の機会となる

(1)国民にとって

1）個々人にとってのチャレンジ、目標達成の機会となる
2）心身と向き合うことができる
3）非日常に浸る機会となり、日常について顧みることができる
4）行程全てが目的となり「歩く旅」こその楽しみが得られる

旅は共に社会課題を考え、解決の方法を考える機会となる

(2)社会にとって

1）国土や環境の現状を知る機会となる
2）持続可能性を考える機会となる
3）交流・滞在時間が長くなる

5

ロングトレイルの維持管理運営システム構築の考え方

長距離自然歩道

②「長く歩く道」の意義と効果



岩手県小さな村、普代村の休憩小屋に偶然集う外国人ハイカー

道を示すからアクションが起こる

(1)国民にとって

1）長く歩く旅の目標となり、旅へ一歩を後押しする
2）旅の情報やサポートを得ることができる
3）ハイカー同士のコミュニケーションが生まれる。

道を示して始めて役割が備わる。

(2)社会にとって

1）国土や環境の現状を知る場となる
2）環境保全を考える場となる
3）持続可能で魅力ある資源として、国内外の観光需要に応える
4）地域間（地方公共団体間）の連携の基軸となる

6

ロングトレイルの維持管理運営システム構築の考え方

②「長く歩く道」の意義と効果



ハイカーは繰り返し訪れ、地域の人々と交流が続いている。

道を示し、人が訪れ、地域に変化が起き始める

(3)地域にとって

1) 地域住民の地元理解・再認識につながる

2) 地域活性化につながる

3) 幅広な経済効果につながる

4) 地域活動への主体的な参加を促す

5) 持続可能な観光資源／教育の場等になる

6) 地域全体のブランド力が向上する

7



8

＝ハイカーが歩きに来る！＝

- 10代～80代、幅広い年齢層のスルーハイカーが増加
- メディアに取り上げられる機会が増加
- 短期的利用のハイカーの数が増加
- インバウンドは10泊～１ヶ月程度と滞在時間の長い層
  スペインのカミーノ・デ・サンティアゴは30万人／年
- 観光シーズン以外でも、ハイキング適期にハイカーが訪れる
- ハイカーが歩くことで、地域内でトレイルの認知が広がる

9

＝地域住民とハイカーが出会い、交流人口・関係人口が増加＝



煮干しを干すおばあちゃんたちと立ち話するハイカー

- 地域の人がハイカーに声をかける
- 交流人口が増加する
- 地域の魅力を互いに認識し合う
- トレイルエンジェル（ボランティアの中でも特にハイカーに対して親切な行為をしてくれる人）が生まれる、関係人口が増加する

10

＝地域が盛り上がる＝

- ボランティアによるトレイル整備、清掃活動が行われ、地域の美化につながる
- 地域の人がトレイルを歩き、地域の魅力を再認識する機会になる
- さまざまな形でハイカーを支えるようになり地域の主体的な動きが盛んになる
- 新たな人をその街に呼ぶきっかけになり関係人口が増加する
- 観光シーズン以外の宿泊需要が伸び、宿泊事業者に経済効果がある
- トレイル沿線の自治体が、イベントやPRでの協働等広域連携が進む

11

＝地域で新たな展開（ビジネス）が生まれる＝

- ロングトレイル自体がブランド力を持ち、地域全体のブランド力向上につながる
- 旅行会社が日帰りバスツアーや長期滞在型のツアー商品を造成する。利用者やツアー商品増加により地元ガイドへの要請が増え、雇用創出にもつながる
- 廃校や民間施設など地域の遊休施設が再活用され、ハイカーの利用も想定した施設に転用され活用されるようになる
- トレイルに関する新たな商品が生まれ、地域の名物やお土産品となる
- ガイド派遣、荷物搬送サービスなどハイカー向けの新しいビジネスが生まれる

12

実際にみちのく潮風トレイルでは？

13

みちのく潮風トレイル

Resilience and Hope



Authentic Japan

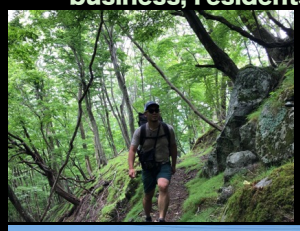


4県29市町村
1,000km超

森・Ocean
海・Forest
里・Local life
歴史・History
文化・Culture

震災復興事業
官民連携で取り組む長く歩く旅の道
本物の日本文化の体験の場

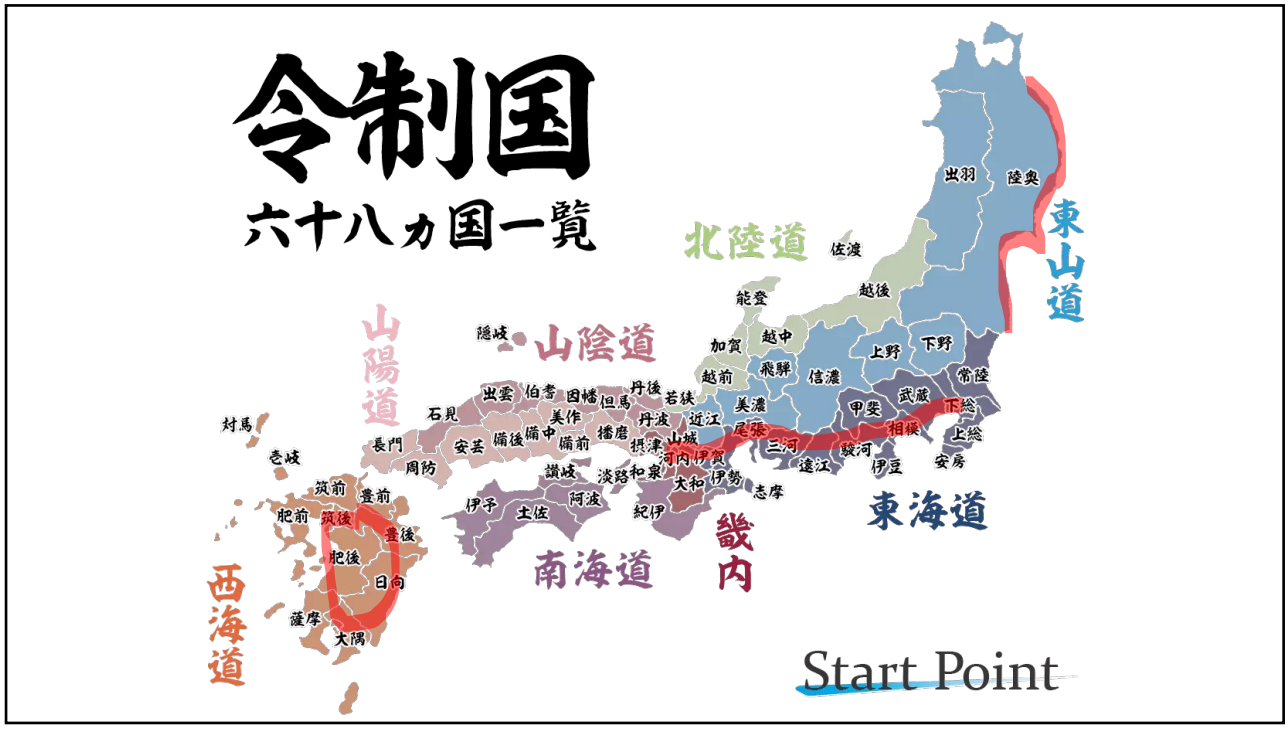
Reconstruction Project
Collaboration with Government, local business, residents, schools, and Hikers!







14


令制国
六十八ヵ国一覧
北陸道
東山道
山陽道
山陰道
東海道
南海道
西海道
畿内
出羽
陸奥
佐渡
能登
越後
加賀
越中
上野
下野
越前
飛騨
信濃
常陸
甲斐
武蔵
下総
相模
上総
美濃
尾張
三河
遠江
駿河
伊豆
安房
丹後
若狭
出雲
伯耆
因幡
但馬
丹波
近江
石見
美作
播磨
摂津
山城
河内
伊賀
大和
伊勢
志摩
淡路
和泉
讃岐
伊予
土佐
阿波
紀伊
対馬
壱岐
長門
安芸
備後
備中
備前
周防
筑前
豊前
肥前
筑後
豊後
肥後
日向
薩摩
大隅
Start Point

15


久慈・田子木遊歩道
久慈・侍石
野田・大唐の倉
～海をみながら歩ける1,000キロ～
普代・ネダリ浜
普代・黒崎漁港
田野畑・北山浜

16


山元・旧中浜小学校
相馬・千客万来館
新地・田園風景と鹿狼山
～多様な景色・人に出会う1,000キロ～
地域に感謝する、地域のファンになる、再び訪れる

17


みちのく潮風トレイル全線開通記念式典・シンポジウム
祝
みちのく潮風トレイル
全線開通
2019年
6月9日
全線
開通
環境大臣、4県・28市町村の首長が一本に

18

みちのく潮風トレイルは広域連携事業



青森県八戸市～福島県相馬市までの4県29市町村の広域連携事業

青森県（2）：八戸市、階上町
岩手県（2）：洋野町、久慈市
宮城県（12）：野田村、普代村、田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、気仙沼市、南三陸町
福島県（2）：女川町、石巻市
東松島市、塩釜市、多賀城市、仙台市、名取市、岩沼市、亘理町、角田市、山元町、新地町、相馬市

19

広域連携に欠かせないもの

20

みちのく潮風トレイル憲章（前文）

2011年３月に発生した東日本大震災は、東北太平洋沿岸に未曾有の被害をもたらしました。千年に一度と言われる自然の猛威に直面し、自然とどのように向き合うべきか国内外問わず世界中の多くの人たちが考えざるを得ない大きな転換点となりました。 環境省は震災後、持続可能な地域づくりを目指すと共に豊かな自然と地域の暮らしを未来に引き継ぐため、「グリーン復興プロジェクト」を策定し、取り組みを進めてきました。その取り組みの一つが、「みちのく潮風トレイル」です。

自然と人との関わり方を考えるために「自然の中を歩くこと」の大切さを提唱し続けた加藤則芳氏より、「三陸海岸の国立公園を通るナショナルトレイルを官民協働で」との提言を受け、青森県八戸市から福島県相馬市までの４県２８市町村にまたがり太平洋沿岸を一本の道でつなぐ、海岸のロングトレイルが誕生しました。

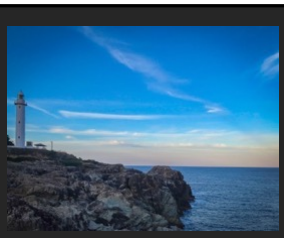
美しい自然や景観はもちろんのこと、地域に暮らし人々とこの地を訪れる人々との交流、自然の恵みと震災の記憶、自然との共生の中で育まれた暮らしや歴史・文化を大切にし、このトレイルに関わる人々にとって「自然と人の共生を示す象徴の道」となり、誇りあるナショナルトレイルとして存続することを願い、ここに６つの憲章を定めます。

～語り継ぐ、1,000キロ～

21



みちのく潮風トレイル憲章







１．美しい風景と風土を 楽しむ道 とします

２．地域に暮らす人々とこの地を訪れる人々の間に

心の交流が生まれる道 とします

３．自然の優しさと厳しさを 胸に刻む道 とします

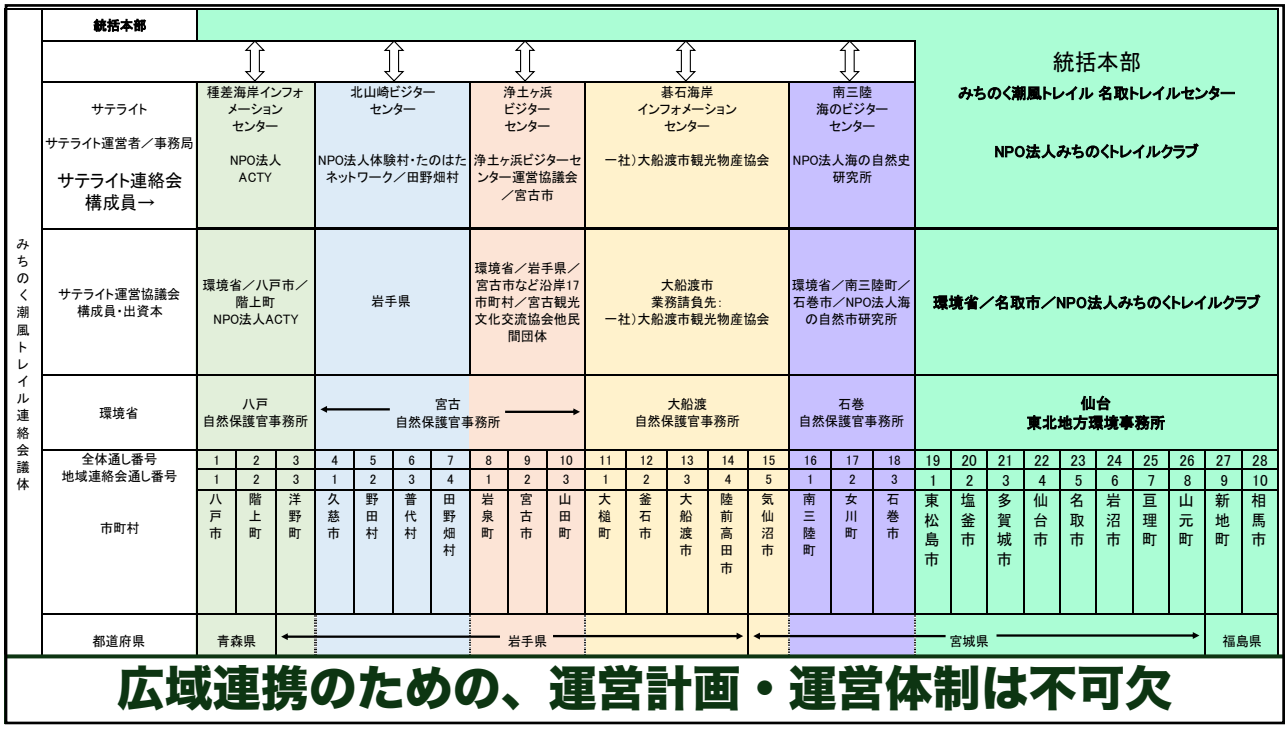
～皆で育てる1,000km～

５．豊かな自然・文化を次世代へ 受け継ぐ道 とします

６．歩くことを愛するすべての人々を歓迎し、

皆で育てる道 とします

22



広域連携のための、運営計画・運営体制は不可欠

23

認定 特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ

～みちのく潮風トレイルの運営団体～

- 設立年月日：2017年8月8日
- 設立趣旨：東北沿岸の復興・地域振興
  - **みちのく潮風トレイルの運営**
    ①広域連系の促進　②管理（保全活動）③利用促進
  - **「長く歩く旅」の文化の醸成**
    ①環境保全の意識醸成　②学びの場の提供、他
- 会員：247名（正会員190名、応援会員37名）
- 理事：6名　監事：1名
- 職員：8名（内パートタイム1名）
- 代表理事：佐々木豊志
- 常務理事・事務局長：相澤久美

MICHINOKU TRAIL CLUB

民間の運営団体も不可欠

24

「ロングトレイル」と自然保護
～「ロングトレイル文化」の背景にあるもの～
加藤則芳氏の思想が組織の根底にある



「人は社会人である前に本来自然人であった」

人間が、自然の中に入り自然と遊ぶことによって
初めて自然と共生し、自然を守り育てよう

「自然と遊ぶことで、自然を知り、理解して、愛する。愛することによって、自然を守ろうとする意識が芽生える」by ジョン・ミューア

ジョンミューの自然主義の立場から、自然からの学びの重要性を訴え続けた

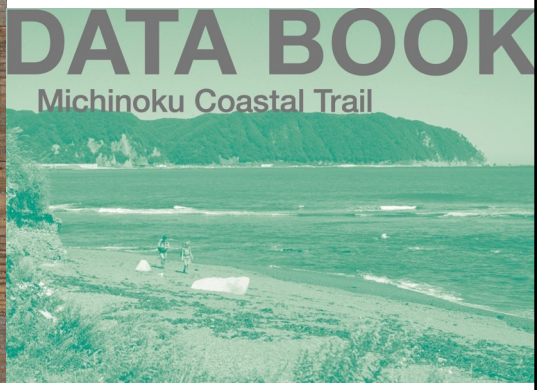
ロングトレイルは
全ての人のための学びの場

25

みちのく潮風トレイル
全線開通からまだ5年

26





ハイカーが歩く計画を立てるために必要な情報（地図やデータ）を提供

27



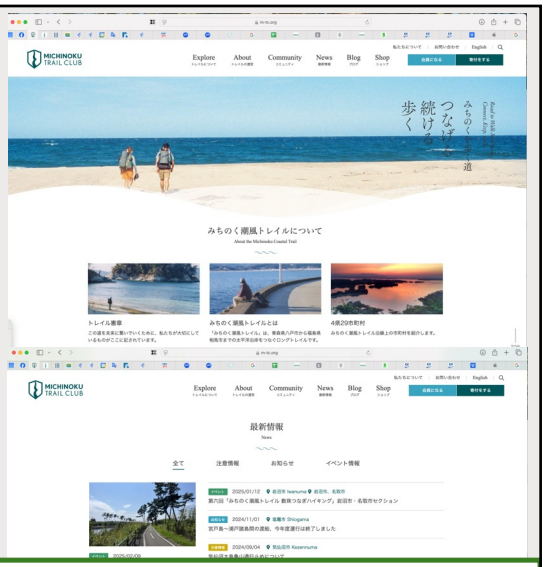
- **注意情報**
- **イベント等利用情報**

HP/FB

Instagram等

異なる年齢層に届くよう工夫

連携する自治体、環境省、地元施設から情報が届く



一元的な情報発信を日々実施

28


14 of the best places to visit in Japan
Between its mountainous interior and island-dotted seas, Japan packs in modern metropolises, ancient temples and mouth-watering cuisine — often all in the same place. Here's where to go
4. The Michinoku Coastal Trail
THE TIMES
日本で訪れるべき14選に
みちのく潮風トレイル
英紙タイムズ
震災学べると紹介
日本で訪れるべき場所14選
1 長野県松本市
2 知床国立公園
3 東京都
4 みちのく潮風トレイル
5 八重山諸島
6 京都府
7 島根県
8 熊野古道
9 京都府伊根町
10 広島県
11 福岡県
12 銀山温泉
13 大阪府
14 長崎県
国内外に向けた
情報発信も連携して実施

29


大阪から
2回全線踏破
ドイツから
2ヶ月！
数珠繋ぎハイキング
イベントに参加
女性
1人も
ご夫婦も
多い
国内外 たくさんのハイカーが東北を歩く旅へ！
フランス人
6人グループ
ルーマニアから
5週間で全線踏破
ハイキング仲間同士

30

歩いた土地に愛着！

移住するハイカー達

交流人口
↓
関係人口
↓
移住促進

＜地域創生＞







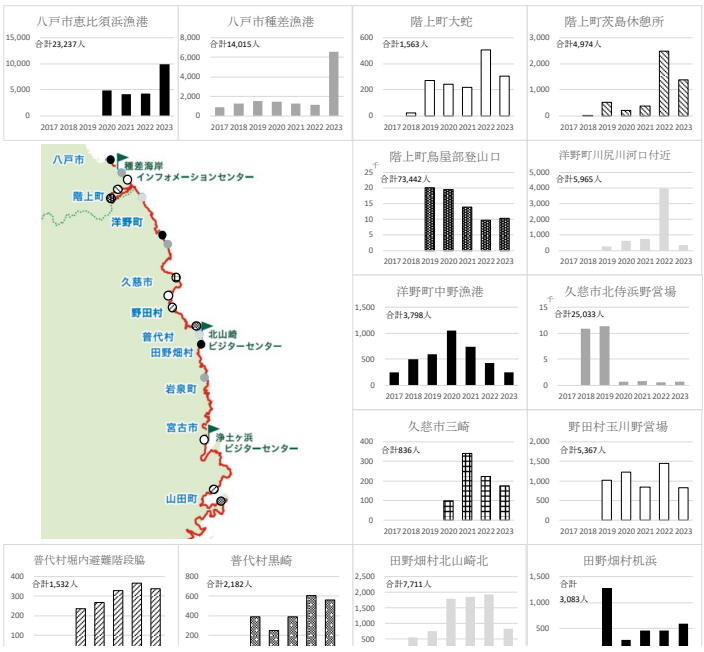




みちのく潮風トレイル
Michinoku Coastal Trail

31

年間歩行者数（設置カウンターより）



年度別カウンター合計値

	合計値
2019	39,649
2020	34,221
2021	30,515
2022	29,707
2023	37,671

R5年12月時点
今年度37,671人日

北部のみ17カ所で実施（全体の1/3程度）

押さずに歩く人も1割程度いると想定

R5年度全線利用者推計

37,671×3×1.1=

約124,314人日

32

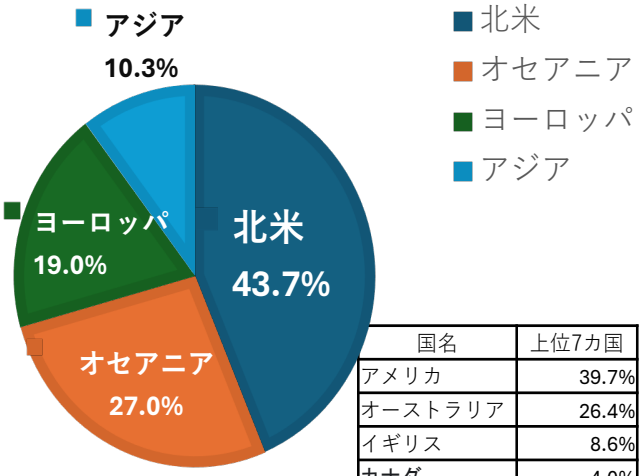
外国人利用者情報

販売数内訳（国外のECサイト利用）

Map種別	2021年	2022年	2023年	2024年	合計
01 八戸～久慈	1	8	32		53
02 久慈～宮古	0	6	28		46
03 宮古～山田	0	6	15		33
04 山田～釜石	0	3	5		20
05 釜石～陸前高田	0	3	5	124	20
06 陸前高田～気仙沼	0	3	6		21
07 気仙沼～女川	0	0	3		15
08 女川～石巻	0	3	2		17
09 石巻～名取	0	3	2		17
10 名取～相馬	0	2	3		17
10冊セット(×10)	4	16	36	41	97
合計	**41**	**197**	**461**	**534**	**1,233**

外国人利用者情報2024年11月現在

購入者居住地域（国外のECサイト利用）



国名	上位7カ国
アメリカ	39.7%
オーストラリア	26.4%
イギリス	8.6%
カナダ	4.0%
スイス	2.3%
香港	2.3%
台湾	2.3%
オランダ	2.3%

33

インバウンドツアー事例

Walk Japan

令和３年度運輸局事業でツアー造成
令和４年よりツアー募集開始

HP　ガイドツアー　セルフツアー

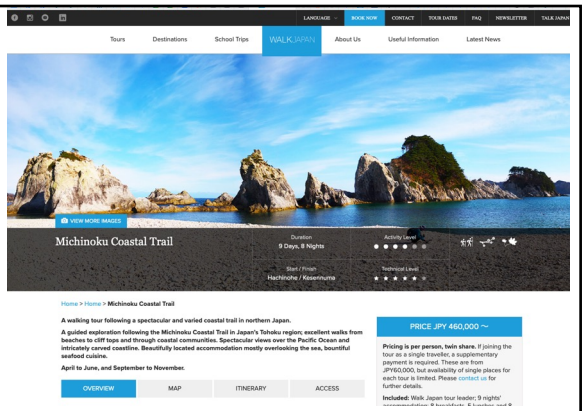
奥ジャパン

令和５年度、日本博2.0委託事業で造成
令和５年9月からツアー募集開始

HP　6日間ツアー　7日間ツアー



Walk Japanガイド付きツアーの様子



昨年度、今年度実績（2024年10月末時点）八戸～宮古・気仙沼区間

ツアー会社	ツアー種別	2023年度実績	2024年度実績	ツアー価格
1. WALK JAPAN	セルフガイド 9泊10日	31人	春　57人 秋　33人	274,000円～
	ガイド付き 8泊9日	30人	春　30人 秋　30人	460,000円～
WALK JAPAN 合計		**61人**	**170人**	→2.7倍
2. 奥JAPAN	セルフガイド 7日、6日	未着手	170人	6日 237,750円 7日 282,000円
奥JAPAN 合計		**0人**	**260人**	2023年10月販売開始
2社総計		**61人**	**430人**	←7倍 今後まだ増える見込み

経済効果（大船渡のホテル事例）

2024年１月～12月の実績及び予約数。
・延べ泊数：321人泊（外国人）
・消費額：6,164,777円
・1人単価：19,204円（朝食、夕食）
他、飲食代、電車・バス代、昼食代、お土産代、芸能体験代、荷物搬送など含めると、1人単価は30,000円／日前後。
430人×8日間×30,000円＝103,200,000円程度
ツアーのみの数字。今後増加が予想される。

34



2024年
11月 Financial Times （英）
12月 Forbs（米）では世界で訪れるべき場所15選のひとつに。

Japan | Built as part of the recovery effort, a new 1,000km hiking trail is driving the discovery of a long-overlooked region, writes *Henry Wismayer*

Travel

After the tsunami

35



歩く人増→「皆」の様々な取り組みも増

各県 広報・イベント

市町村 広報・イベント
受入態勢強化

企業

広報・イベント・他活用

地元住民・事業者

広報
ツアー造成

サービス提供
商品開発・お接待

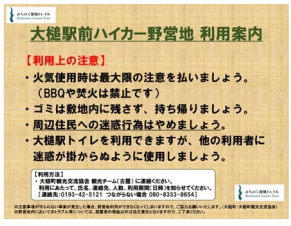
36

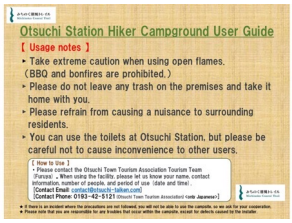
トレイル沿いの地域の取り組み

大槌町観光協会主導 ハイカー向けの野営場！









陸前高田市にも、ハイカー専用キャンプ場が！



37



トレイル沿いの地域の取り組み



ローカル鉄道と連携／荷物搬送サービス

地域に新たなビジネス

38

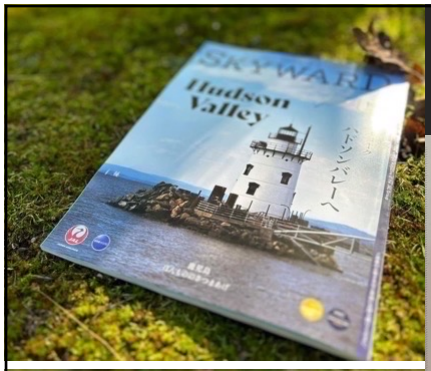
企業との連携　第一生命株式会社様

八戸、宮古、釜石、大船渡、相馬で開催
（右は岩手県内の募集チラシ）





39





企業との連携 日本航空株式会社様





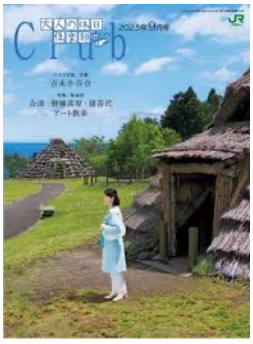
機内誌・機内映像・HPに特設サイト・

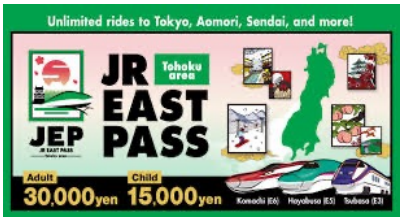
40

企業との連携 KDDI



企業との連携 JR東日本







41

企業との連携 学研

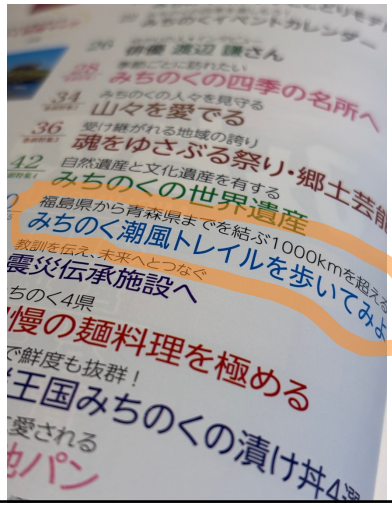
2025年2月20日発売
京都の書店でも！



「地球の歩き方」で『みちのく』！







42

トレイルの質の向上・ガイドラインの作成
地域の体制づくり、ハイカーとの協働





43

地域住民が主体

「1,000キロみんなで集まる会」

2025年1月開催決定。

ホテル一棟貸切（支配人が発起人）で開催

44

②「長く歩く道」の意義と効果



ハイカーは繰り返し訪れ、地域の人々と交流が続いている。

道を示し、人が訪れ、地域に変化が起き始める

(3)地域にとって

1) 地域住民の地元理解・再認識につながる

2) 地域活性化につながる

3) 幅広な経済効果につながる

4) 地域活動への主体的な参加を促す

5) 持続可能な観光資源／教育の場等になる

6) 地域全体のブランド力が向上する

45

長く歩く旅・道による効果を得るために必要なこと

46

Ⅲ。ロングトレイルシステムの5つの要件

1）長く１本に続いている道であること

2）歩道の管理主体が明確であること

3）歩道の状態を把握し、共有する仕組みがあること

4）利用情報を提供できる仕組みがあること

5）３），４）を適切に実施するため地域も含んだ管理運営体制があること

地域との協働が最も重要・協働無くしてトレイル事業は不可能

47

Ⅳ．ロングトレイルシステム構築のプロセス ～みちのく潮風トレイルと信越トレイルの事例から～	該当する要件
１．基本計画の策定	1）～5）
２．地域との共同による路線設定と道づくり	1） 2） 3）
３．憲章の作成	1） 5）
４．運営計画の作成	1）～5）
５．地域連携による管理運営体制の構築	2）～5）
６．運営団体の設立	3）～5）
７．拠点施設の整備・運営	1）～5）
８．歩道状態把握のための管理台帳の作成	3） 5）
９．危機管理体制の構築	4）～5）
１０．一元的な利用情報の集約・提供・発信	4） 5）
１１．GISデータの提供	4）
１２．データブックとマップブックの作成・販売	3）～5）
１３．愛称及びシンボルマークの作成	1）
１４．運営団体の資金調達	5）

48

皆で育むトレイル／ロングトレイルシステム



みちのく潮風トレイルは、行政主体の取り組みではなく
「**みんなで協働する取り組み**」を目指してきた

地域の人たちが関わるからこそトレイルの価値は高まり、存在し続ける。
多様な方々が「主体者」として関わり、
対等なパートナーシップが構築されることで、
皆で育むトレイルとなる

49

皆で育むトレイル／ロングトレイルシステム

- 我が国のロングトレイルの先駆けである長距離自然歩道についてこの考え方に基づいたシステムを構築し、**再活用することは多くの国民にとって有意義**

- 国立公園を中心に進められているロングトレイルや、各地で取り組まれて地域のロングトレイルにおいても、地域の状況に合わせつつこの考え方を応用していただくことで、**日本に長く歩く旅の文化が定着**し、**人々の豊かな生活を実現**し、**持続可能な社会に貢献**することを期待

50

まとめ：皆で育むトレイル／ロングトレイルシステム

長く歩くことを推進する意義と効果

① 体験豊かな自然文化を、広く国民に提供する。

② 「国土や地域を巡り歩く」ことを公が提案、保証する

＊環境施策や、体育や文化、レク施策、観光、運輸施策を超えて、横断的で、根源的なプロジェクトとして、**分野横断的、セクター横断的に持続可能な社会を目指す点**で意義がある。

③ 環境保全の施策、生物多様性施策の支える国民の知識体験基盤を形成する

＊長く連続する道を辿ることで、断片的にではなく、地域、地域がつながってできている国土の姿を実体視できる、国土を形作っている**森里川海のつながり**のリアルがわかる点に大きな意味がある。自分たちが住む土地、環境を、実感をもって知り、理解できる点は、**脱炭素化、資源循環、生物多様性保全を統合した、地域づくり**の施策の展開上での基盤となる。

51

関係者全員が足並みをそろえ

トレイルルートを
一本に繋ぎ続ける
それがブランド（信頼）

ことが何よりも大事
ロングトレイルを歩くこと自体が
ありのままの地域の魅力を伝えるてくれる

52


皆で育む
笑顔の道
みちのく潮風トレイル

53


ふくしま浜街道トレイル始動！
ふくしまの、
今を歩く
ふくしま浜街道トレイル

54


1. 新地町
2. 相馬市
3. 南相馬市
4. 浪江町
5. 双葉町
6. 大熊町
7. 富岡町
8. 楢葉町
9. 広野町
10. いわき市
10市町村の
広域連系
モデルコース
ここから
みちのく潮風トレイルに続く
コース1
コース2
コース3
コース4
コース5
コース6
コース7
コース8
ふくしま浜街道トレイル
Fukushima Coastal Trail
どこを通るの？
ロングトレイル？
長く歩く旅
魅力は？
どうやって歩くの？
お問い合わせ

55


青森
AOMORI
秋田
AKITA
岩手
IWATE
山形
YAMAGATA
宮城
MIYAGI
福島
FUKUSHIMA
東北4県
を歩こう！

56